

寒河江 設立4周年の地域スポーツ

会員年々増え600人超

寒河江市の総合型地域スポーツクラブ「アスポーツさがえ」が来月、設立4周年を迎える。近年の健康ブームも手伝って登録会員は年々増え、2009年度は600人超。設立当初から市の運営補助金は受けておらず、支出が収入を上回らない健全運営を維持。ニーズに応じて未経験者も気軽に参加できるプログラムを増やしており、幅広い世代が交流しながらスポーツを楽しんでいる。

同クラブは市体育協会、市体育指導委員会、市体育振興公社が設立母体となり、06年



健全運営を維持



アスポーツさがえのサークルでバウンドテニスを楽しむ参加者
—寒河江市民体育館

20コース 幅広い世代が交流

2月に発足。公社職員が事務42人、08年度501人、09年度626人と順調に増加。同公社は「年一回全戸配布している広報紙と口コミで徐々に市民に浸透してきた」と分析する。

2月に発足。公社職員が事務42人、08年度501人、09年度626人と順調に増加。同公社は「年一回全戸配布している広報紙と口コミで徐々に市民に浸透してきた」と分析する。

費用の確保が悩みで、自治体の補助に頼るケースが少なくないが、アスポーツさがえは市からの運営補助金を受けている。ヨガやゴルフなど一部の種目を除き、同公社のスポーツ指導員、市体協、市体育指導委員会のメンバーが主な可能性を模索してほしい。

現在、プログラムの主会場となる市民体育館はほかの利用者もおり飽和状態。同公社は今後、プログラムの数を増やさず、実施内容を充実させて1コース当たりの参加人数を増やす方針だ。クラブの事務局を務める同公社の大沼修悦主任は「いずれは住民が総務、企画、指導のあらゆる面で携わるクラブになってほしい。自主財源による自主運営が総合型地域スポーツクラブの目指す形」と期待を込める。

軌道に乗ってきたアスポーツさがえ。住民の健康づくり、交流の機会としてだけでなく、少子化の中でスポーツ少年団や運動部に代わる活動の場にもなりうる。スポーツを通じた地域活性化、競技力アップのサポートなど、さまざまな可能性を模索してほしい。

06年度241人、07年度411人、08年度501人、09年度626人と順調に増加。同公社は「年一回全戸配布している広報紙と口コミで徐々に市民に浸透してきた」と分析する。

費用の確保が悩みで、自治体の補助に頼るケースが少なくないが、アスポーツさがえは市からの運営補助金を受けている。ヨガやゴルフなど一部の種目を除き、同公社のスポーツ指導員、市体協、市体育指導委員会のメンバーが主な可能性を模索してほしい。

現在、プログラムの主会場となる市民体育館はほかの利用者もおり飽和状態。同公社は今後、プログラムの数を増やさず、実施内容を充実させて1コース当たりの参加人数を増やす方針だ。クラブの事務局を務める同公社の大沼修悦主任は「いずれは住民が総務、企画、指導のあらゆる面で携わるクラブになってほしい。自主財源による自主運営が総合型地域スポーツクラブの目指す形」と期待を込める。

軌道に乗ってきたアスポーツさがえ。住民の健康づくり、交流の機会としてだけでなく、少子化の中でスポーツ少年団や運動部に代わる活動の場にもなりうる。スポーツを通じた地域活性化、競技力アップのサポートなど、さまざまな可能性を模索してほしい。

(寒河江支社・五十嵐 聡)